二〇〇六年　賀正

いしずえ

沼津建設業協会
広　報　誌

発行・編集
社団法人 沼津建設業協会

広報委員会
沼津市御幸町17－12
電話〈055〉932－8311
http://numazukenkyo.jp/
発行日　隔月1日

年頭の挨拶

(社)沼津建設業協会
会長　渡邊　康一

協会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をご家族ともども健やかにお過ごしになり新たなる決意を胸に、新春のスタートを切られたかと思います。

昨年もすべての協会活動に対し、協会員全員のご協力をいただき、スムーズに運営できましたこと、改めてお礼申し上げ、本年も昨年同様のご協力をお願いいたします。

さて、瞬く間に過ぎ去りました昨年一年を振り返りますと、東京を中心とした、大企業、ＩＴ先端産業の好景気は我々地方建設業にとっては別世界の出来事であり、中小の民需が若干上向いてきた程度の感触でしかなく、減り続ける公共工事の受注競争は年々激しくなる一方でありました。

しかし昨年４月議員立法として『公共工事の品質確保の促進に関する法律』が制定されたことは建設業の歴史にとり大きな変革のスタートの年でもありました。

明治以来100年にならんとする公共調達の絶対原則である最低価格を提示した企業と契約しなければならないとする『会計法』の呪縛から解放され、さまざまな観点からの評価値と価格評価とで最も総合評価の高い企業に決定するとした方式であります。

長年、我々建設業は全国各地において千差万別な自然環境や工事条件にもかかわらず、入札書にはたった一行の請負金額もしくはその内訳明細しか表現することを許されず、その金額の低さのみがその企業の最大限の意思表示と努力結果として認められるに過ぎませんでした。

その結果減少傾向に歯止めがかからぬ公共事業に対しアンバランスな業者数によるダンピング受注は日々増え続け我々地方業者の体力は年々消耗しつつあるのが現状です。

こうした憂慮すべきスパイラル状態から脱するため、我々に与えられた最後のカードがこの総合評価方式ではないでしょうか。

この法案は議員立法として急きょ制定されたため、一部の識者からは理念法に過ぎず拘束力が伴わない、などと揶揄もされましたが、それが幸いし、業界としてはこの法案の具体的内容を真剣に討議、検討、構築する機会を与えられた感があるようです。

すでに昨年県内に於いても数件の総合評価入札が実施され、他県においては４番札の業者が決定したとの朗報も入ってきております。

必ずや今年こそ、この総合評価方式入札のコペルニクス的発想転換が全国の自治体に普及することを祈るのみであります。

談合なき、ダンピングなき、晴れ晴れとした総合評価による公共調達の実現を初夢としてみたいものであります。

まだまだ困難な時代が続きますが、地道な努力を積み重ねるまじめで優良な企業が生き残れることを信じ、協会員全社にとり、よき年となりますようお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

未来に向けて

第68回

「再生の為のメモランダム」

(株)植松建設　植松　弘行

①「耐震強度偽造事件」がこの文章が公表される頃どのような展開になっているのか、私の立場では詳らかではない。言えることは建設業界特に建築業界は、この事件が氷山の一角であるのか、それとも広く深く蔓延しているのかは別として、失った信用を全力で回復するような「理念とシステム」を構築しない限り、業界が陽の当たる場所に出て行けることはないということだ。「システム」構築は監督官庁が主導するだろう。だが「理念」は業界が自前で生み出さねば、またぞろ同じ道行だ。理念なき拝金主義が一番の敵だ。

②この事件のキーワードのひとつが「コストダウン」であった。「良い物を安く供給する」と言う一見もっともな、その実、非常に困難なテーマがろくに中身も検討されず一人歩きしている「過当競争時代」にあって、技術屋の誇りを失った者たちによって危険な抜け道を作られてしまった側面がある。

個人的に言えば「良い物は高い」はずが、生産能力の限度を超えた安さを求める時代が陥った陥穽だと思う。未成熟な概念の一人歩き。

③「良い物を安く供給する」ために、製造業の現場で何が可能であろうか？　一般的には現行の製造技術の改良、レベルアップであろう。製造技術の向上によって生産効率を上げ、効率結果を価格に反映するという方法がコストダウンの一般的な流れである。

だが、技術革新は製品の品質向上や製造時間の短縮、手間の減少などには寄与するが、投資の回収も含め、直ちに価格に反映するかといえば、そこまで短絡的、直截的ではないと思う。「安い」という命題をクリアーする第一義の方途は、やはり製造コスト中の人件費なのだ。安い製品を求めて労働力の安い中国へ生産軸をシフトした先進国企業が今、東南アジアにその生産拠点をシフトしていることを見ても分かるとおり、コストダウンの内実の多くが「人件費の抑制」が実態であるとき、我々は言い知れぬ虚しさを感じる。

④翻って、わが建設業はどうか？　限度を当に超えたコストダウンが横行している。公共工事においては耐震強度偽造のような悪意ある行為は皆無だが、人件費の抑制と人材育成のための資金投入は現在皆無に近い。限度を超えたコストダウンにより利益が出ないから、技術力アップのための機会に投資することもなく、ただ今ある技術だけを持って仕事をこなしているのが現実だ。若い力や人材にレベルアップの投資しない業界に未来などあるはずがないのだが。

⑤公共工事において、新しい技術を用いてコストダウンを図るということが困難な理由は、目的構築物の「仕様」が事前に決定されているからにほかない。「仕様」の事前決定は施工者の選択肢を皆無にするといっても良い。コストダウンのためにはせいぜい頑張っても能率を上げて手間賃を抑えるか、材料費を抑制するしかないのだが、実はこの範囲で抑制できるものなど高が知れている。にも拘らずこの範囲を大きく超えて「コストダウン」をなすとすれば安い労働力を求めて彷徨う製造業と同じく、安い下請けを求めるしかない。

その結果産業の活力は失われ、空洞化が進むのが常である。耐震強度偽造事件の主役「ヒューザー」が短時間に業績をあげ、建築業界にアヤフヤとはいえ地歩を固められたのも、振りかぶって言えば業界の健全性や浄化作用が過当競争で疲弊しているからだと思う。

⑥公共工事におけるコストダウンの命題をクリアーするため、例えば「VE提案」などが試行されているが、「仕様」の一部変更によるローコスト化のため当然限界がある。それは公共投資の一連の流れの中で中間や出口に調整弁を設けても、全体像に大きな変化が期待できないことを意味する。コストダウンが公共投資の一義的課題であるとするならば(私はそうは思わないが！)発注段階からコストダウンを図るために、例えば「発注者側の競争」を企画するのも一案だ。

過日、経済アナリストと話した時「発注者は何故競争しないのか？」という発言があったが、例えば複数の発注機関を設けて目的構築物を複数で計画、積算して発注すれば、入り口においてコストダウンが図られ、発注サイドにおいても更なる技術力アップにつながると思うのだが。

⑦毎年下がり続ける設計労務単価は、業界の「コストダウン」がただただ人件費を抑制して工事価格を安くしているだけだということを如実に物語っている。ゼロ金利時代とはいえ、これほど下降が激しい労務費が示すものは、請負者が他に工夫のしようがない「コストダウン」の実態を示している。

⑧公共工事に依存する建設業者は、毎年「経営事項審査」という発注側のシステムにのっとり格付けを受けている。この格付けにより身の丈にあったランクを指定され、「仕様」の決定権を持たぬ中で無理な価格競争を繰り返せば労務単価は下がる一方だ。優秀な人材が入職せず、年老いた職人の貴重な技術や技能が後継者もなく消滅していく様を座して見過ごせば取り返しがつかない。

特別寄稿

「水の惑星」生命の営みのある地球環境を考える(58)

綺麗な水を子孫への遺産として　その3

環境カウンセラー　保坂貞治

埋め立て地

末端の漏水浄化施設

野外調査で各地を歩き目に触れる埋め立て地域の低地より滲み出す水は、特別の色や臭いがしていることがあり地下水が汚染されているのではないか心配である。土地は一度汚染されると百年経過しても元に戻り難い。山間の低地や窪地は、雨や豪雨時に水の集まりやすい場所であり地下には地下水脈が発達しやすい場所でもある。埋め立て地では大雨が降ると例え防水シートを施してもオウヴァフロウして汚水が流れだす。末端域には沈殿池や浄化施設を設けて環境負荷の問題を考える事が大切である。私たちは生活をする上で不必要な物をごみとして出す。不燃ゴミとして埋め立て処理をしなくてはならない。土地が汚染され地下水が汚染されるとそこで栽培される稲作や野菜、飲み水を通して汚染物質が体内に入ることになる。有害化学物質は一般に人の体内に入ると肝臓や脂肪に蓄積されやすい。水に溶ければ尿として排泄されるが脂肪と一緒になると排泄され難く体内に留まり濃度は増加する一方である。肉食の動物は被食者の体内に蓄えられていた有害化学物質が捕食者の体にそのまま入り蓄えられるので、食物連鎖の頂点にある動物ほど高濃度に蓄積されることとなる。子、孫、子孫に禍根を残さない意味でも浄化施設を真剣に考え対処していかなくてはならない問題である。

河川の途中に川の長さ水量に応じて遊水池を設け水生植物を植え汚染物質を吸収する。

熱海花博の折り熱海城に寄り天守閣の上より海を展望して驚いた。赤潮が幾重にも重なり相模湾に向かって流れている。河川には工場排水から生活雑排水まで様々な汚染物質が流れている。この中に含まれる栄養分が富栄養化をもたらし赤潮を発生したのである。

トイレの浄化槽や合併浄化槽の普及により河川の流れは確かに改善された。しかし、排水口の近くでは有機物は分解され無機物になるので綺麗だが、この無機物は水生微生物には栄養源となり微生物の異常発生、水中酸素の不足による嫌気性細菌の繁殖により臭気や汚染が広がる。市町村の大型合併浄化槽の排水口には遊水池を設け水生植物を繁殖させ多様な生態系をつくる。排水中の無機質は吸収すると同時に微生物により有機物を分解する。汚れた河川では汚染の程度により何箇所か遊水池を設ける。こうして河川に含まれる有機物や無機物を調整することにより海の汚染を防ぎ川や海の多様な生態系が保たれる。

遊水池や埋め立て地の浄化施設は真剣に取り組まないと汚染は進み生き物の命を蝕む。

琵琶湖にアオコが異常発生した。諏訪湖の汚染、瀬戸内海に赤潮が発生した。何れも水に含まれる富栄養分がもたらす藻類の異常発生に起因している。これ等が社会問題になった時にはあまり身近に感じなかった人でも、近年は池や湖水の汚れは気づく程になっている。特に河川の汚れは著しい。昔は子供が河川で遊び、魚を捕る姿があり、夏には水浴びをする姿があった。この姿が一九五〇年代に絶えて久しい。魚が泳ぐ姿があっても釣り糸を垂れる気も起きない。更にこの水を使い稲が栽培され野菜が栽培されているのである。そして私たちの食卓にのるのである。食品を通して私達の体に汚染物質が入っているのです。公害は病気や身体異常として比較的早く現れ分かりやすいが、環境汚染は分かり難く結果の現れるのが極めて遅いのが特徴である。結果の出たときは最早元に戻すことは不可能に近いのが環境汚染である。この事実を認識して地下水や河川の汚染対策を実施しないと取り返しのつかない事態となることを恐れ憂う。

一九八五（昭和六十年）サンケイ新聞、論説副委員長、山本雄二郎氏の講演要旨「社会資本の整備」から

国土庁では、二十一世紀の（あと十五年）日本の姿を、展望しているが、要約すれば、次の三点に大別される。

一、(1)人口
　(2)価値観
　(3)二十一世紀のイメージ
二、(1)技術
　(2)経済
　(3)産業
三、(1)国土の利用と保全
　(2)国土基盤

一、(1)人口

女性が、一生に何人の子供を産むか、という数値を、合計特殊出生率（ＴＦＲ）というが、昭和四九年は二、〇五であったが、昭和五六年には一、七四に低下していて、二十一世紀の、日本の総人口は、減少に向かい、二〇八〇年には、総人口は、九千万人を割るかもしれない、と推測している。（厚生省人口問題研究所の昭和五六年の、参考推計）人口が減少すると、社会にどんな影響が出るかを、推計すると

一、高齢者の割合が、増加するため、高齢者の就業環境が悪くなる。

二、経済成長が、低下する。

三、社会資本のストックが減る。

などが、マイナス面で、プラス側では、

一、土地利用が、し易くなる。

二、食糧事情が、よくなる。

などが考えられるが、総合的には、やゝマイナスながら、大きな変化はないと推測する。

(2)価値観

一、物の豊かさよりも、心の豊かさが、重視される。

二、人工的なものよりも、自然との共生が、重視される。

三、ハードから、ソフト社会へ移行する。

四、量的拡大から、質の充実へ転換する。

五、絶対的規範から、相対的な規範へと移行する。

六、単一の目標から、目標の多様化へ変化する。

(3)二十一世紀のイメージ

一、世界人口の急激な増加

二、都市化の進展

三、地域的な（国家間の）所得格差の拡大

四、大西洋時代から、太平洋の時代へ（西欧から、環太平洋へ）

二、(1)技術

(ア)エレクトロニクスの高度化の時代

(イ)バイオテクノロジーの進展

(2)経済

経済成長率は、二～三％で推移する。緩やかな、発展の時代となる。

問題点：

・エネルギー
・国際関係
・労働人口の減少

(3)産業

・ソフト化
・サービス化
・国際化
・機械や、化学分野の進展
・第三次産業の伸び

三、(1)国土の利用

我国の二〇〇〇年間の歴史は、森林に覆われていた国土を、人口の増加に伴い、耕地化することであった。資料によれば、人口と耕地面積とは全く比例関係にある。

一方、都市の発展は、七世紀から、九世紀、つまり、飛鳥、奈良を経て、平安時代の初期が最初であり、次いで、十六世紀から十八世紀、つまり、戦国時代から、江戸中期であり、三番目は十九世紀、明治維新から、日清戦争の時期にかけてであり、そして、戦後復興から、今日に至る、高度成長期と言われ、積極的に、大規模な、国土基盤の整備が行われた時期と、停滞した時代があったと、分析されている。

農林業は、我国では、近年急速に衰退している。世界的には、発展途上国の、爆発的な人口増加により、食糧危機が危惧されており、二十一世紀の食糧問題は、深刻になると考えられ、農業問題は、重大である。

この他、都市化の急速な進展、住宅の更新、交通問題、国土の保全と安全、防災、治安、等々、問題は山積しているといえよう。

最後に、国土基盤の問題であるが、高度成長期に整備された、社会資本ストックが、二十一世紀には、更新期となり、その維持管理費が増加し、新規投資は、ほとんどできなくなり、大きな課題となると予測される。

以上の展望を、どのように具体的政策に、盛り込むかは、経済計画や、国土計画の中で考えられ、五カ年計画などが策定されてきたが、国の財政事情の悪化、行政改革、財政再建、ゼロシーリング、マイナスシーリングといった政策により、公共投資は抑えられ、アメリカでは、「荒廃するアメリカ」で示されたように、社会資本の衰退が現実になっている。

我国に於ても、道路特定財源の、一般財源化などに象徴される。二十一世紀は、厳冬の時代を迎えるのではと、予測している。

古雑誌の随筆（その四十三）

社会資本の整備

後藤貞一

静岡探検倶楽部

第三十三回　最高所露天風呂…本沢温泉(長野県南牧村)

文　井下　秀文

八ヶ岳中腹にある本沢温泉は、日本最高所二一五〇mの野天風呂だそうである。

日本一のナントカという場所は人を引きつけやすいが、高所の温泉についてはいくつか種類があるようなので、少し調べてみた。

まず、日本一高所の温泉は実は本沢温泉ではなかった。

高所日本一温泉は、標高二三〇〇mに湧く地獄谷温泉(富山県)で、源泉は火山性ガスのたちこめる危険な区域にあるため入浴できない。温泉が引かれる宿泊施設がいくつかあるが、積雪期に休業となる。さらに露天風呂はない。

よって日本一高所の「露天風呂のある温泉」は、紛れもなく本沢温泉となる。しかも「通年営業」の最高所でもあるとのことだ。

ではその本沢温泉はどのような所か。山の斜面に木枠の浴槽があるだけの、まことに野趣に満ちた湯である。脱衣所も囲いもなく、潔い。

一月某日、雪と温泉を満喫するために、歩いて四時間ほどかけて、行ってきたのである。雪の中を四時間といっても、坂はゆるいし、人も多く歩いているので、それほどつらいコースではない。

本沢温泉は天狗岳・硫黄岳登山の基地となる一軒宿の山小屋でもある。温泉を利用するには入浴料を払う必要があるが、小屋宿泊であれば自由に入浴できる。

温泉は内湯と外湯があり、それぞれ泉質がちがうとのことだ。

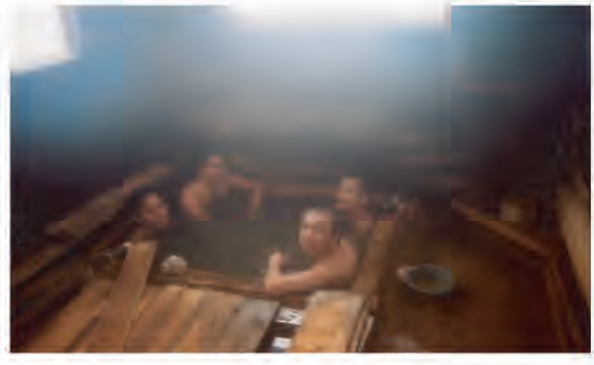
まずは外湯の露天風呂へ。

硫黄岳を間近に眺める雪の斜面。風が吹いたら雪の粉が舞い、我が身に降りかかる。雪の上で服を脱いで湯船に浸かるまで、非常に寒くて死にそうになる。

湯は白濁している。ややイオウくさく、温かい。湯船は小さく、定員五―六人といったところだろうか。底は砂利っぽい。湯が底や湯船の枝の隙間からこんこんと沸いているのが伝わってくる。冷たい雪風に吹かれながら、時折粉雪をかぶりながら、ビールを飲みながら、地球のエネルギーを実感できる、最高の入浴である。湯質は匂PH3の酸性とのことで、肌に少し刺激が残り、寒さの中でもよく温まる気がした。

雪上で半ば凍りかけた服を着て、山小屋に戻る。小屋でストーブに当たっていても少しも暖かくないので、内湯に行くことにする。

内湯といっても離れにあり、ちよっとした雪中行軍だ。が、夏と冬で場所がちがうようだが、冬は「石楠花の湯」というやや赤みを帯びた熱めの湯である。素朴な小屋がけでランプの灯りも趣がある。



このように一箇所で全く異なる温泉が楽しめるというのは、かなり贅沢ではないか。

日本各地に温泉は数多くあるが、その中で温泉本来の魅力を楽しめる所はどのくらいあるだろう。温泉は、湧き出てそのまま利用するような、なるべく人の手を加えない自然状態に近い状態で、地球の産物の恩恵に浴するのがいいに決まっている。本沢温泉はそれがじかに感じられる所なのだ。

歳男からひとこと

戌年生まれから一言

富士峰建設(株)
代表取締役
長岡重弥太

新年を迎えて抱負も新たに彼是、思案の中で脳裏を過るものは、やはり今年のに本経済の動向であります。
経済誌のよりますと06年の世界経済の見通しは分かれたままとのことでありまして減速するという見方がある一方で、引き続き好調な成長が続くという意見もあります。
見解の分かれ目は、米国経済の状況にかかっており、石油価格の変化も、それを大きく作用しそうです。
米国経済と密接に関連する我が国の経済は昨年末から快復基調にあるやの話題は流れておりますが、果たして地方の而も、中小の我が建設業の今年は、どのような企業経営に遭遇するか、慎重に見守って行きたいと思います。

柿田建設(株)
代表取締役
久保田光則

〝年男からの一言〟

明けましておめでとう

新春とはいえ、ことのほか厳しい寒さが続いており

ますが、〝今年は年男〟世の厳しさなど何のその、頑張り通す一年で有りたいと願っている。
昨今、テレビや新聞等で騒がれている景気の回復の兆しに幾度となく騙されてきたが、今回も間違いなさそうだ。この上昇の根拠は多くの場合、判然としない。国内に於いても一部の大企業が利益を得ているようにいわれているが、そうではなく、地方銀行、保険会社、鉄鋼会社などである。これらの「死に体」と査定された組織は、なんの改善もなされていない点が国民の負担で賄われていたことを考慮すべきである。
現状の日本は世界経済を脅かした時代は終り、着実に一歩、一歩努力を重ねて行かなければならない時代なのだろう。
日中、日朝関係が危うい未来であるが、アジア諸国には政治的共同体がない為である。
ヨーロッパのように「国家威信」を抑制し「国防上の不安」を和らげるためにEUが存在するのである。
地方建設業協会も、一致団結し組織化の意味を互いに理解し昔の仲間意識の復活を願いたいものである。
年男の私は、いつも〝目標の設定〟をして、今日の小さな目標が未来の大きな目標に継ながるように精一杯の積み重ねが大切ではなかろうかと思う。
最後に皆々様の御健康と益々の御発展を心から祈念致します。

睦産業(株)
代表取締役
立道芳弘

「誠実・忍耐」を掲げ、「成せば成る何事も」をモットーに頑張りたいと思います。
今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

樽林建設(株)
代表取締役
樽林武臣

戌は走る

新年明けましておめでとうございます。一九四五年、日本は初めての経験となった対外敗戦をむかえた。あれから六十年、自身もその翌年に生まれたので今年六十歳をむかえる。終戦の混乱期は、まだもの心がついたとはいえない時期だったので、世代の上の人々のご苦労は想像するしかなかった。そんな中、高度経済成長の波頭に乗って、日本の発展は留まる所を知らないかのように、突き進んできたように思えた戦後の日本の歩みと共に生きてきた六十年。
起業してから今まで、ただ前しか見ずに歩いてきたような気がするが、我が、うしろには、いつしか太い道が長く長く出来あがっていた。日本全体をあらわす道かもしれない。さて、これからの日本はどうなるのだろうか、ニートと呼ばれる若者が増加している一方、自分などまだその年齢の頃には、とうてい一人前扱いされなかったような若い世代が、IT関連の業界で大きく成長し、この六十年間を支えて来たともいえる政・財界の大人達が翻弄されたりしている。市井の片すみで、小さな事業を営み日々満足しながら暮らしている身には、ただ驚きではあるが、そんなニュースを見る時、三十年前に戻れたら自分…などとふと頭の片すみを、よぎることもある。それは一種の老化現象なのだろうか、まだまだ六十歳やり残していることは沢山あるはずだ。幸いにも還暦という言葉の中にいる。六回干支を戻すと、またあの敗戦の翌年になる。これから先の六十年の日本を楽しみに新たに走り始めよう、戌年なのだから。あと何回戌年をむかえる事ができるかわからないが。

(株)和太組
代表取締役
梶　喜一

日本の文化「互譲互助」精神に思う。
落語に出てくる八っあん熊さんのように、昔から日本は向う三軒両隣り精神が自然に生れ、困った時はお互様と言って、米・みそ・しょう油等、返済など無期限で助け合っていたと思われます。
最近考えられない様な犯罪が多いのは、幼少年期に私も含め親が教えてないから、相手の痛みも解ってや

歳男からひとこと

戌年生まれから一言

れない。

世の中も余りにも合理化や、必要以上にプライバシー保護だので、何となくねじれ現象があり、権利ばかり主張し、義務を果さない風潮がある様に思えます。

いずれにしてもお互い助け合って生きて行く事を、再認識し、我々が普段忘れかけている精神を取り戻したいものです。

(株)勝間田工業
代表取締役
勝間田　央

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いします。

年月が経つのも早いもので、私も四回目の歳男となりました。前回の歳男の時は、代表取締役に就任して一年目で、世間からの信用・信頼を得るのに無我夢中でした。十二年経った今年はどうだろうか？　我々の業界は、景気が低迷し厳しい時代が続いていますが、安く・早く・良い品質をモットーに、社員一丸となって、不況というトンネルを抜け出すために、何事にも挑戦して、飛躍の年にしたいと思っています。

我々業界及び、沼津建設業協会の発展を祈り、自分自身の健康管理にも注意し、次回の原稿の依頼が来た時には、もう少しゆとりのある原稿が書ける様に努力し、何事に対しても一生懸命頑張って行きたいと思いますので、宜しくお願いします。

(株)大東建設
代表取締役
水谷洋介

新年明けましておめでとうございます。父から会社を譲り受けて、今年で十二年目になりました。振り返るとバブル後の不景気と超得意先の倒産などでとても大変な日々が続きました。

そんな中、社長は絶対に会社を潰してはいけない、会社を存続させることが社長の使命と思い、他社が真似できない我社の得意分野に力を一点集中し、社員も一丸となって頑張ってきました。すると少しずつですがお客様から声がかかり、何とか軌道に乗ることができました。

今年の抱負としては、「地域密着」を第一と考えています。地元のお客様から信用され、支持される会社が本来ある姿と思っています。その為には今まで仕事をいただいた地元のお客様の所へ社長自から何回も足を運び、お客様の本音の苦情を聞いて廻ることから始めたいと思っています。その苦情を改善してこれからの仕事に生かし、苦情のない安心して住める建物を少しずつ造っていこうと思いますので、今後共宜しくお願いいたします。

大栄工業(株)
取締役
金澤清文

少し走ると「ハアハア」長い階段を登るとヒザが「ガクガク」「気持ちだけはいつまでも若いのに」という言葉を実感する歳になったんだなと改めて思います。

年男を迎え「いしずえ」の原稿を依頼され何を書こうかと思っている矢先、業界を震撼させる問題が起きてしまいました。マンション・ホテルの構造計算偽装問題です。

通常の発注形態では考えられないことです。検査機関にしてもまさか資格のある構造設計士が計算したものを疑いもしなかったでしょう。日本の建設業はお互いの信頼関係の上に成り立っています。今回の事件は、その性善説を悪用した大変ゆゆしき問題だと思います。

経済（利益）優先の考えが働いてしまったのでしょう。破格の値段で発注し一般的な価格で販売されていたのでしょう。買い主（施主）不在の発注形態が今回の事件の一因になっているはずです。一日も早い問題解決と業界の信頼回復を期待しています。

セリザワ建設(株)
代表取締役
芹澤将彦

今年で三十六歳になる私の現状と希望についてお話します。

会社は私の代で四代目になります。裾野市を拠点に土木業を七十一年間、下水道管維持管理業を九年間、地道な会社運営を続けてきました。六年前には品質ISO、三年前には環境ISOを構築し社会資本整備に少しでも役立つよう社員と共に努力を続けています。

私が入社してから、仕事で最も求められてきたものといえば業務の知識と工事受注でした。そして、家族は早く結婚し家庭を築くことを望んでいました。

今では、先代の母親が病院で療養中ですが毎日リハビリに励み、奥さんは家事、拓也は受験勉強、良太は毎日の陸上、翔吾は市町村駅伝の練習、麻衣は九月に生まれた弟の世話に、それぞれ一生懸命です。

次の年男までに、今いる子供たちを早く一人前に育て、会社でしっかり働ける環境を保持していくつもりでいます。そして、去年生まれた子供に加え、あと一人は子供をほしいと考えています。

「からだづくりの教室」便り (15)

宮本摩知

「腰痛防止　冷え改善」

厳しい寒さの中、長時間を屋外で働く方々には腰痛に悩まされたり、時にはぎっくり腰などの不安におそわれる辛い季節です。

腰痛やぎっくり腰の原因は重い物を持ったり、不自然な姿勢をしたからばかりではありません。

冷えて体が硬くなる、感覚が鈍くなる、可動範囲が狭くなる。水分不足で柔軟性に欠けるなども大きな要因です。

そして意外にも、頭が疲れたり、消化器がくたびれたりコンピュータ、テレビ画面による目の過労など、これらも腰痛やぎっくり腰の原因になるのです。

体の冷えや鈍りは内臓にも悪影響し、食べ過ぎてしまったり、消化不良を起こしたり便秘になるなど、この状況は血液や体液が汚れてゆく道筋です。

足元が冷えたまま放置していると感覚が鈍り始め血流が悪くなってしもやけになったりします。腫れて赤くなり、かゆくなるのは足先が助けを求めている状態です。

体の表面の寒さは、衣類、暖房、マッサージなどで防ぐことができますが、体の内部そして内臓（お腹）が冷えているのはやはり温かいものを飲食し、足湯や腰湯をお薦めします。

そして体が暖かくなり、硬い処がほぐれて、足腰が軽く首や肩が楽になる体の動きをやってみましょう。

始めは硬くてやりにくい動作も、できるだけ続けてやってゆけば誰でも必ず柔かくなるものばかりです。

ぎっくり腰は突然起きるように思われていますが、体をよくよく観察していると起こしそうな体になっているのです。ですから防ぐタイミングはいつでもあるのです。

少し違う観点から体を動かし、毎日続けて、この冬はいつもよりおおきな安心に包まれて過ごして下さい。

体をゆっくり左右振り返りながら後ろが見えるまでよ～く捻ります。

ふっと力を抜いて正面に戻します。

足首、膝の裏側、大腿、尻の下、背中を順に伸ばしていきながら前に倒れ手を下におろす。

※始めから手を床につけようと思わないこと。

あお向けで両脚を持ち上げ頭の先の床に届くまで。

※膝を曲げないように

頭を左右にゆっくり倒す。耳が肩に届くくらいまでじっくり倒します。

あお向けで足先を手前にぐんと倒し、足首がまっすぐになるように向こうへ倒す。

どの動きも全て体の中から伸びてゆるんでほかほかしてくる方法です。

私流のアイデア

小さなサイズのペットボトルにお湯を入れタオルでくるんで寝る前に布団の中に入れておきます。温まった布団に入るとほっとします。寝る時は足元に置き湯たんぽがわりに丁重してます。

御厨(みくりや)の古今 (5)

古文書 (2)

勝間田　秀彦

田畑禁論

一、徹朱印境内に数年百姓開来田畑並家居等可為在来之通　但年貢者任旧例に越石者其寺社領江収納天より越石之地頭江納之

一、本田高之川欠者不及附寄地を欠地之反別に應し地之横波之

一、徹朱印地畝歩不足之類者数多在之依て不取上

堤井用水論

一、私料二而新田新堤取立候儀双方地頭相封之儀に付障無之様可申合旨申談願不取上子細雀之済堅儀は格別

一、徹料私料組合普請私料分斗自普請願は禁之証拠証跡用不用

一、山論境目株場等出入並田畑論先奉行裁許の書付

一、憶成書物在之鹿不時之証文等取之為証拠於差出戸〆

馬継川上岸場市場

一、人馬継之場所江寄人馬出とい得と茂私に人馬継禁之但馬継場之相封者格別なり

一、人馬継往還之外猥に脇道寮之

一、商人江貴渡緒荷物手馬二而馬継を通る事禁之

一、往還荷物理不尽に差押に於は過料

跡式養子離別後任普引取人

一、父致養子於後式極置て者実子為共跡不続之

一、遺状之通り家屋敷譲分者跡式致断絶者母ハ妾ニ而外江嫁候由難申出親類倖無之相果候者之家財者母心次第たる上者遺状之通母江跡式分之

一、致家出之養子父死後立帰養子者相続離成

一、婿養子離縁之上者出生男子者夫之方江可為引取

一、懐胎候共離別之事者夫次第出産之上男子は夫之方為引取・女之子は妻方江可差置

寺社普離旦出入

一、神・佛事其外何後に不依新規之儀停止証拠無儀者奉行所又者地頭相達任差図

一、父之遺言於在之者欣宗可為心次第

質地田論

一、拾ケ年季を越江永年季之質地普名主加判無之百姓相封判二而借金或永代賣未納賣等二付不法之質地致取引前前より停止

一、知行之田畑質に入させ知頭用金為億出候事停止

借金家質出入

一、事保十四酉年以前之借金出入者無之取上

一、武士方借金日限申付置候　虞跡式断絶二付一類之内別二領分地被下置分より切金為相済候旨金主発申出不及沙汰盲例

一、家賃利金二ケ月分滞候分者訴訟不取上三ケ月も滞者済方申付る

一、白紙手形二而於致借金は証文は破捨或者弐三拾両科料

奉公人出入

一、欠落人給金済方請人江申付若於滞は身代限り申付ル

一、取逃引負之儀請人兼兼存候様子二候はば急度吟味落着次第請人御仕置申付

一、引負人親類其外者致弁金者無之当人も可済方便無之者は五十敲追放申付ル

裁許破掟背其外御仕置大概

一、裁許難波之者は牢舎或は手鎖裁許可請申旨申之者は赦免

一、追放所沸之御仕置於不請者速嶋或は追放

一、掟を背脇差を帯候者脇差し取上手鎖

一、隠鉄砲於致賣買は田畑取上所沸口入人科料

一、御鷹場二而隙鉄砲打候者は名主田畑役義取上組頭は科料村中は過怠烏番人申付之鉄砲打捕候者之衛褒美銀弐拾枚訴人は銀五枚被下之

一、極者を留置候名主ハ役義取上戸〆組頭ハ科料

一、欠落者を囲置二於ては科料或は戸〆

一、押て縁組之事於申募は本人取持人共二手鎖

一、御法度之宗旨を保勤候出家頭取はは速嶋或は追放取佛

一、役人江賄賂差出其品軽は手鎖或は役義取上之

一、人殺之儀内緒二而不訴出は取沸名主役は取上戸〆内緒二而葬儀寺は塀門

一、火附強盗惣て重科人之内同類にても無之其者二被頼住所を隠或は為立退類は家財映所所沸

一、喧嘩口論当座之儀二而人を殺同類には無之共者被頼住所を隠或は立退候者戸〆

（次号へつづく）

言いたい放題

「お昼にしましょう」この一言で午前中のバタバタした時間から解放されます。女子事務員はお弁当を持って二階へ上り、お昼のニュースを見ながらのランチタイムです。

現在は、我が社の事務員は四名、勤続二十年弱の大先輩が一人、四月で入社四年目に入る二十二才が一人と、私三十一才。そして先月から来ている二十五才が一人、三まわりも年の離れた四人での会話は、時には通訳が必要だったり、世代の分れ目を感じたり。お弁当を食べながらの会話は、一つのニュースでもいろいろな意見が出て、人それぞれの考え方を感じます。

たまには、御殿場弁講座が始まり、意味や使い方を話し、逆に現代語(?)の意味を教えてもらったり、また、同じ事務員でも、それぞれ担当する職務が違う為、お互い情報交換をし、仕事の流れがスムーズにいくように段取を考えたりしています。

この様な世代の離れた人達と話すという事は、日常の中では限られた人達との交流になってしまい、あまりありません。

外から見るだけでは理解できない事、知らない事も話す事で納得したり分かったりします。また立場の同じ事務員という事で、気兼ね無く話せる事も良い結果かもしれません。

昼休みも後半になると、お昼寝する人、電話をする人、買い物に行く人、テレビを真剣に見ている人それぞれです。自分なりの方法で休みをとり午後の仕事にそなえます。

「時間です」午後も頑張りましょう。

広場

東静建設(株)
鈴木博昭

あけましておめでとうございます。私は今年三十歳を迎えるにあたり、ひとつ目標を立てました。それは日記をつけることです。今までの人生を振り返ってみると、なんとなく毎日を過ごして、いろんなことを忘れていっているように思えたからです。

なんてかっこいいことを書いていますが、飽きっぽい性格な為、敢えてこの原稿に名前を載せさせていただき、自分自身にプレッシャーをかけてみました。

しかし日記といっても、長い文章を書く気は全くありません。二~三行でもいいから、その日にあった出来事、出会った人、思ったことを一日の終わりに書き留めたいと思います。

ちなみにこの話を祖父にした時に、祖父は十三年間、日記を続けて書いていて、三年間分書ける日記帳が五冊目に突入しているそうです。私もその血が繁がっているので、今年の大晦日には、その日記を読みながら今年一年を振り返れるように頑張りたいと思います。

主要行事予定

◎建産連新年賀詞交歓会
日時　H18 1月10日(火)　12時~
会場　ブケ東海・静岡

◎月例安全パトロール
日時　1月11日(水)　9時~
場所　沼津地区管内
　　裾野地区管内
　　小山地区管内

◎月例安全パトロール
日時　1月13日(金)　9時~
場所　御殿場地区管内

◎年始強化安全パトロール
日時　1月27日(火)　9時~
場所　沼津建協全管内

●現場代理人の声

東栄建設(株)静岡支店
菊池　洋貴

私が東栄建設に入社してから、早いものでもう五年半の月日が経ちました。

土木という仕事は、私の家も建設業を営んでいるので、幼い頃から見て育ちました。学生の時から家でアルバイトとして土木作業を経験していく内に、自然と学科も土木工学科へと進み、いつの間にか現場監督の道を選択していました。

土木という仕事は、先程述べたように経験していたのですが「現場代理人」という仕事は、まったく未知の仕事でした。

アルバイトしていた頃の監督の仕事のイメージは、正直言って、楽な仕事だなと思っていました。

しかし、実際に自分が監督として現場に出た時に思った事は、なんて大変な仕事だろう、でした。

現場を動かしていく為に準備しておかなければならない事の多さや、書類作成に追われる日々で、まったく余裕がありませんでした。

しかし、少しずつ仕事の内容が分かり始めてくると、現場を動かしていく事の楽しさや、完成した時の達成感や充実感を味わえるようになってきました。

まだまだ失敗も多く、自分の思った通りにはいきませんが、失敗を受け止め経験と言う財産に変えて、一歩一歩確実に一人前の現場代理人に近づいていこうと思っています。

私の考える理想像としては、知識や技術はもちろんですが、作業員一人一人の長所を見抜く洞察力、またそれを伸ばす為の指導力等を備えた人間です。

少しでも理想に近づけるように日々努力していますが、まだまだ長い年月がかかりそうです。

私の余暇 At one's leisure

渡辺建設(株)
小林　泰三

ある日父が、「バイクを買うからパンフレットをもらってこい。」と一言。どんなバイクが良いか聞くと、「とにかくでかいやつ。それとお前の免許で乗れるやつ。」当時

私は中型自動二輪免許しか持っておらず400ccで、一番図体のでかいバイクを探して来ました。

そして納車の日、目の前に現れた新車のバイクに、いい大人二人が子供の様な目をして立ちすくしたことを覚えています。それから週末の朝になると決まって親子会議。議題は「今日はどちらがバイクを使うか。」当然父のバイクですから、父の言いなりでした。

それから数年、今では私も結婚し子供も生まれ、週末は家族サービスに追われバイクに乗る機会がめっきり減り、父の独占状態。たまに父から、バイクが調子悪いから見てくれと言われると、二歳になる息子をシートに乗せバイクの整備をしています。

息子がもう少し大きくなれば、後ろに乗せ二人でツーリングへ出かけようと現在「バイク乗っ取り作戦」を計画中です。それまで息子と二人でもうしばらく父のメカニックを続けようと思います。

安全標語

◎生活習慣見直して　心と体の健康づくり
桔梗　茂幸　松庫工業(株)

◎明るい職場　明日につながるゼロ災害
藤田　明久　(株)藤田建設

家族からみた父親像

（株）川村組
鈴木進二氏
長女　鈴木　未来

「ただいま。」
わたしの父は、いつもそう言って家にあがってきます。仕事はとても忙しいようで、いつも疲れきった声です。
帰りが遅いときもあるので、なかなか会話できない日もあります。でも、夕食が一緒のときや居間にいるときは、学校や趣味などの話をしたりもします。
わたしと父は、好きな映画が同じなので、休みの日にディー・ブイ・ディーを父と見るのがわたしにとって、休みの日のたのしみの一つでもあります。
とても仕事で忙しいようですが、たまに家族をいろいろな場所に連れて行ってくれます。
わたしは、家族に対して優しく明るくおもしろく接してくれる父が好きです。
これからも、体調をくずさぬよう仕事をがんばってほしいと思います。そして、また家族をたくさんの場所に連れて行って下さい。

私の大切にしているもの

クリーンサービス（株）
大山　春海

私の大切にしているもの！家族・友人・ペル（注・愛犬）、大切なのは当たり前のことですし、『心』というとチョット格好良すぎるかもしれません。結局、今夢中になっている物に落ち着いた次第であります。
元来が熱しやすく冷めやすい性格であり、その上悪いことに収集癖が加わりますと、今までに集めたり、夢中になった物は数知れず。
思い起こせば、何故か小学低学年の頃、ミツバチを捕まえることに異常な執着を持ち、花に止まるミツバチの後ろから近づき、両羽を左右から指で捕まえ夢中になっていました。（そして思い出すことは、ハチに刺され針を抜き、アンモニア消毒？　をしていることです。ハチを何のために捕まえ、どうしたのか記憶はまったくありません。）こんな癖ですから、今までに大切（夢中）にしたものは、切手、フィギア、古民具、コミック本、そば猪口、：ｅｔｃです。そして今、『私の大切にしているもの』、それは不二家のペコちゃん（キャラクター・現在150個位）の収集です。以前ビックリマンチョコブームの時、子供たちがいくつも買ったチョコレートを店先で開け、シールだけ集め、中身を捨てている姿がＴＶでも放映され、ご記憶にある方も多いと思います。私があの時の子供状態です。抽選キャンペーンを見つけては、ペコちゃん商品を大量に買い、バーコード（応募券）を切り取っている今日この頃です。

俳句

水谷美保子

初御空富士凛然と聳え立ち
平凡に恙がなき身の屠蘇を酌む
目な裏の母若かりし薺粥

短歌

せりざわきみよ

夕ばえに明るむ庭に降りたてば
　山茶花ひとつふたつ花あり
つぎつぎに岸をはなれて昇りゆく
　鳶の翼ぞ風にかたぶく
たっぷりと紅葉に昼の日は差して
　いのち愛しも蔵王山中

「短歌解説」
一首目
日没のころ、庭の方が急に明るくなったので、驚いて出てみると、何れともなく、しんと静かで、ただ山茶花がひとつふたつ咲いているだけでした。
二首目
三浦岬へ遊びに行った日は台風のあとで、まだ風がけっこうあったのですが、沢山の鳶が岸からとび立っていました。餌を求めてのことでしょう。いきいきとした鳶の姿にうたれ、「ぞ」で強調しました。
三首目
十月下旬、裏磐梯を旅しました。蔵王は風も無くよく晴れて、紅葉はみごとでした。病を克服して今、ここにあることがうれしく、又、山の木々の命のいとなみを愛しく思え、素直に詠んだ一首です。

(株)河野建設
河野一郎

我が町小山町では、現在映画・ドラマの撮影で町を使ってもらう、フィルム・コミッションの町として全国各地の撮影隊が町狭しと駆け回っています。

これまでのフィルムコミッションでは、先日公開された、戦国自衛隊1549（主演江口洋介）、ホールド、アップ、ダウン（主演V6）同じ月を見ている（主演窪塚洋介）フライ・ダディ・フライ（主演堤真一）電車男（主演山田孝之）忍SHINOBI（主演仲間由紀恵）などメジャーな映画撮影がされていたりもします。

特に、「忍SHINOBI」は、自分の会社が、沼津土木事務所から受注した地蔵堂川の現場が撮影場所になって、主演の仲間由紀恵さんが来て撮影をした事が非常に印象に残っている作品です。

ただ、残念ながら撮影日には自分は現場に行く事が出来なくて主演の仲間由紀恵さんに会うことは出来ませんでした。現場にいた者に聞くと、凄く小さくて可愛い女優さんだったと報告を受けただけでした。

さて、ここでお話する、今回の思い出の写真は、平成二年一月七日から十二月九日までNHKで放送された、第二十八回NHK大河ドラマ『翔ぶが如く』（主演西田敏行）です。

この作品は、小山町にNHKのスタッフが来町し、今回の作品の撮影イメージが、九州の田舎なので、小山町のロケーションがぴったり合うと言う事で撮影場所に決まったそうです。

そこで、小山町建設業協会員にエキストラとして出演依頼がきて出演が決まりました。

当日は、朝五時から夜七時まで写真の制服の、官軍兵士役で田んぼの中を走り廻っていました。

写真は、主演の西田敏行さんが、昼休みの時に撮らしていただいた物で、西田さんは、みんなに「無理して怪我するなよ」って声を掛けるなど非常に気配りが利く俳優さんでした。

十五年も前の写真ですが、この写真が今、小山町で行われているフィルムコミッションの始まりで経済誘致の先駆けで有ったのではと、自負する思い出の写真です。

又、不思議な事に十一年前に亡くなった母が写真の右後方に写ってるのも思い出かな。

九月下旬の新聞に、こんな記事が載っていました。

〝12歳幸せ頂点〟。新潟県に住む小学校六年生の女の子が、深田久弥氏の『日本百名山』を制覇したとの事。しかも百名山を目指してわずか三年余りで達成というからすごい！。

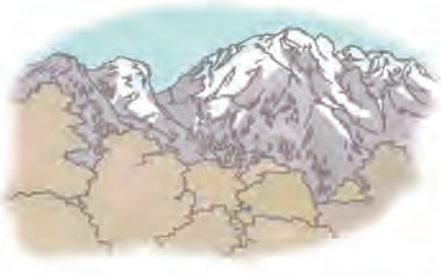
両親は登山が趣味で祖父は地元山岳会の名誉会長という家庭に育ち、東北、上信越、アルプス等に比較的近く、そこに百名山の七十以上が集中しているという地理にも恵まれた環境も幸いしたと思われる。

北海道・四国・九州などの山は夏休みを利用して登ったみたいだが、それにかかる家族全員の交通費、宿泊費等を考えると、百名山踏破もなかなか大変だったと思います。

私も学生時代は北・南アルプスを中心に年二～三回は百名山に登っていましたが、最近では日帰りで行ける近くの丹沢・富士五湖周辺の山々に限られてしまいました。

子供達が成長し仕事もある程度余裕を持って休めるようになったら遠くの山へボチボチ登ってみようと思っています。

それまで体力を維持できるかがちょっぴり心配です……。



協会の動き

適正取引講習会の開催

静岡県東部、四協会合同実施の標記講習会を本年度は、(社)沼津建設業協会（会長渡邊康一）が担当し十月五日(水)午後一時三十分より沼津市内において開催した。

この講習会は、会員（経営者）が対象で、必修科目の独占禁止法解説の他に国土交通省中部地方整備局の御協力を頂いて「公共工事の品質確保の促進に関する法律」詳細解説を加えたことなどもあって参集者は百三十二名であった。

技術体験発表会の開催

本年度、技術委員会（委員長高田誠）の重点事業である第十二回技術体験発表会は、十月十二日(水)午後二時より沼津建設業会館大会議室にて(社)静岡県土木施工管理技士会沼津支部と共催で開催した。

工事名称、氏名等は、次の通りである。

一、平成十六年度、東部看護専門学校南棟建築工事について
中島信吾　大岡建設工業(株)

二、平成十六年度、(国)414号沿道環境改善工事（舗装工）について
(性能規定発注方式（公募型）による舗装工事)
勝亦惣一　山旺建設工業(株)

三、平成十六年度、地方特定整備事業(都)佐野茶畑線道路改良工事について
土屋重剛　(株)齋藤組

四、平成十五年度、防衛施設周辺民生安定施設整備事業桜公園整備工事における空中水平回廊の施工について
伊地知博　岳南建設(株)

五、平成十六年度、鮎沢川支川金時川火山砂防工事（本提工）について
鈴木博昭　東静建設(株)

農地森林土木技術研修会開く

技術委・農地森林部会（部会長勝間田良秋）は、十月二十六日(水)午後二時より沼津建設業協会大会議室において標記研修会を開催した。

この研修会は、静岡県東部農林事務所の協力を頂いて例年開催しているもので当日は渡邊協会長の挨拶に続いて静岡県農政全般に造詣の深い当、深井満所長より「静岡県東部エリアーにおける花と緑の地域づくり」の講話を頂いた。

その後、実務研修に移り農林土木工事施工上の留意点について土屋検査技監等からの講義と圃場整備工事の施工体験について(株)林組・堀内部会員の発表があった。

就業体験学習の沼工生受入れ

平成十七年度、県立沼津工業高校インターンシップ（就業体験）学習、生徒受入れは、十一月十日(木)～十一日(金)の二日間、(株)植松土木外、会員二十五社の協力を得て技術委員会（委員長高田誠）が担当し実施した。

学習の初日、同校大会議室にて全体ガイダンスを受けた土木、建築科七十五名の生徒達は、それぞれ出向いた責任者に引率されて受入れ会員企業へ移動し、同企業の概要説明聴取や施工現場の見学実習を行った。

二日目は、施工の現場で簡単な補助作業をと測量機械の操作を従事体験した。

個人情報保護法セミナー開催

例年開催の会員経営講習会は、十一月十七日(木)午後一時三十分より沼津建設業協会大会議室において経営委員会(委員長佐藤裕司）が担当し開催した。

「建設業における個人情報保護法の対応について」と題して開いたセミナーには、(社)東京建設業協会ＩＴ研究会座長の児山満氏を講師にお招きして「個人情報保護法対応の必要性、建設業における個人情報の事例、個人情報漏洩による被害金額」などについて講義をして頂いた。

地区だより

(社)沼津建設業協会 小山支部

(社)沼津建設業協会小山支部は、十月一日(火)に、小山町内で施工されている土木工事現場、四箇所の安全パトロールを行った。

各現場では、掲示物、安全に関する書類等十分に整理されており、現場内も安全に配慮されていた。

小山町建設業協会

小山町建設業協会（会長臼井良太）は、例年行っている小山町役場技術担当課との勉強会を十一月四日(金)に行った。

今年は、例年の通り、技術的諸問題は元より、昨年結んである災害協定を踏まえ、昨今多くなってきている大型地震や、台風による災害等の小山町役場と、建設業協会の連絡、連携を再度確認した。

勉強会では、災害時の連絡にはメールが、有効手段である事を知り協会では、会員の携帯メールアドレスを連絡系統図に記載するかの検討に入った。

沼津建設業協会 御殿場支部「清掃奉仕を行う」

(社)沼津建設業協会御殿場支部（勝間田良秋代表理事）は十一月七日(月)、御殿場市内の道路でパトロールを兼ねて清掃奉仕作業を行った。七月に行った奉仕作業に続き本年二度目の清掃奉仕作業となった。

御殿場支部の会員から計二十名が奉仕作業に参加して、箱根乙女峠、長尾峠、表富士周遊道路において道路脇に捨てられている空き缶や空きびん等のゴミ拾いを行いながら、ガードレールや道路に損壊がないかどうかパトロールを行った。また、回収しきれない粗大ゴミや谷底への不法投棄などは、市の環境課へ連絡をとった。

小山町建設業協会

小山町建設業協会（会長臼井良太）は、十一月十三日に小山町で開催された、第二十五回小山町ふれあい広場（福祉祭・産業祭）に参加した。

当日は、例年の通りにデジカメで作ったカレンダーを無料で配布した他、本場大阪で研究をした、たこ焼きを販売し安さ美味さで大盛況となった。小山町建設業協会は来年も町民サービスとして、本祭典には参加する予定でいる。

小山町建設業協会

小山町建設業協会（会長臼井良太）は、十二月五日(月)町内の建設現場三箇所を、安全パトロールをした。

今年は、十二月としては珍しく気温が低く、朝のＫＹＴ活動では、各現場とも現場内の作業体制は基より、作業員の健康を気遣う活動も注意されていた。

御殿場市建設事業協同組合「創立二十五周年を祝う」

御殿場市建設事業協同組合（理事長・高杉周作）は、十一月三十日(水)午後一時三十分から御殿場建設業会館において組合創立二十五周年記念式典を開催した。当組合は昭和五十五年三月、御殿場市内で建設業を営む二十七社の総意により組織された。同年十月には建設会館が完成し、ここを活動の拠点に資材の共同購入、技術の習得、社会奉仕活動等建設業界の活性化を目指し、会員一同積極的に取り組んできた。そして、この日を新たな出発として位置付け、会員一同心を一つに邁進することを誓った。

写真コンクール作品募集

一、応募資格
・協会員、家族、社員
・協力会社、家族、社員
・「いしずえ」の読者

二、課題
・自由

三、作品
・カラー又は白黒
・キャビネ、四つ切り、八つ切り

四、募集期間
・平成17年9月1日～平成18年1月31日

五、作品の送付先
・(社)沼津建設業協会 広報委員会

六、賞金
・最優秀賞　一点　五万円
・優秀賞　三点　三万円
・佳作　五点　一万円

七、審査
・主催者（広報委員会）

八、発表
・平成18年3月1日発行の「いしずえ」に作品と共に掲載する。
・平成18年3月開催の通常総会にて表彰する。

九、募集上の注意事項
・応募作品は、作品名、作者名を表示すること。版権は、当協会に帰属する。
・「ネガ」又はデータも作品に同封すること。

野帳

建築基準法について

明けましておめでとうございます。

新年を迎え読者の皆様にはどの様にお過ごしでしょうか。建設業は、特に公共工事を担当されている方は新年と言っても、工事工期がまだ年度末まで続くと年度末がこなくては、工事が終了しないと一年が終わった気持にならないと同時に、新年を向かえたと言う気持にはなっていないかもしれない今日この頃かも知れませんね。

しかし、新しい年の始まりですから、今年も一年頑張って行きましょう。

さて昨年は、建設業界内でも激震が走るほど驚いた事件が有りました。

建築構造計算の数字を誤ったと言うのでは無く故意に建築構造計算を偽って建築許可を取ったあの事件です。

建築低価格時代が起こした時代を象徴する事件である事は間違いなく感じる事件でした。この事件は、建築主が悪いのか、施工会社が悪いのか、時代が悪いのか今も回答に苦しむ事件です。

そこで、今回の事件に非常に関係する建築基準法って何かって調べてみました。

建築基準法って何?

調べた図書によると、建築基準法は優等生であると言う。なぜかと言うと、時代に応じた基準を柔軟に盛り込む改正が頻繁にされると言う。平成六年の第八次改正では、バブル景気も有り住宅地下室の容積緩和がなされ、平成十年の第九次改正では、阪神淡路大震災を契機に構造規定の見直し、性能規定の導入、建築手続きの合理化の改正、平成十四年の第十次改正では、都市の活力ある再生に視点をおいた改正、又シックハウス症候群に対する規制も加えられた。

又、外にも建築基準法はシンプルに構成されている、建築基準法は性能の技術的基準を施行令に収録し、その目的と基準の適用範囲を明確にすることにつとめていると同時に地域的な条件に対応できる余地があるとも言われる。

余地とは、建築基準法は、建築基準→施行令→施行規則→条例と言う構成をとることにより、地域的な風土や歴史の違いなどに対応する事ができるとも言われる。

建築基準法とは、時代時代に生活をしている国民がいかに住みやすい環境で、気持ちの良い生活が出来る様に考えられている法律であると言う。

そこで、建築基準法第一条を読んで見た。

建築基準法第一条

この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的とする。

と第一条には記されている、間違いなく建築基準法は国民が寄り住みよい環境の中で、生命・健康・財産を守ってくれる法律である。

前文に戻ると何かおかしい事に気付く。

マンションを購入した、国民が法律で守られるはずの、生命・財産・健康を害されているー　建築主?　設計者?　構造計算者?　国から認可を受けたチェック機関?　施工業者?　販売業者?　みんなおかしく無いかい、建築基準法って何だと思ってるのかな、みんなで第一条を大きな声で読んだらどうなのかな。

お知らせ

沼津協、ホームページの開設

協会の実施事業や諸活動の状況、行事の内容等、を地域の方々に広く周知するなどから此の程、「㈳沼津建設業協会ホームページ」をオープンしました。

掲載内容は、協会の概要、行事の御案内、委員会紹介、会員名簿などです。

アドレス
(http://www.numazukenkyo.jp/)
(広報委員会・青年部会)

入学志願者の募集

静岡県立沼津工業高校では、平成十八年度定時制専修コース(修学二年間)入学志願者を募集しています。

一、資格
高卒者、平成十八年三月高校卒業見込者

二、募集学科
建築科、(機械・電気科)電気コース

三、願書受付
平成十八年三月十日(金)～十七日(金)

四、その他
入試は、三月二十二日(水)
沼工(電)〇五五―九三二―〇三四三